

IV. 2016年度の実績を踏まえた 今後の取組み (2017年度九州電力グループ環境アクションプラン)

2017年度九州電力グループ環境アクションプランについては、環境に関する国内外の動向をはじめ、2016年度の活動実績や評価等を踏まえて策定しました。

具体的には、温室効果ガスの排出抑制に向けた原子力発電所の再稼働と安全・安定運転や再生可能エネルギーの積極的な開発と最大限の受入れ、お客さまの省エネ・低炭素化に貢献する取組みに加え、廃棄物ゼロエミッション活動の展開や地域環境の保全への取組み、環境コミュニケーションや次世代へのエネルギー・環境教育の推進などを織り込んでいます。

2017年度についても、九州電力グループ一体となって環境アクションプランに基づく活動を着実に実施し、事業活動と環境を両立する「環境経営」を推進していきます。

【全体構成】

環境活動方針
(グループ全体)

今回変更なし

環境目標
(当社・グループ会社別)

一部見直し

年度環境活動計画
(当社・グループ会社別)

一部見直し

環境目標に追加した項目

項 目	2017年度	備 考
Play Forest実施回数(回)	12回以上	次世代へのエネルギー・環境教育に関する取組みについて、新規に目標を設定
くじゅう九電の森での環境教育(回)	20回以上	

2017年度の環境活動計画の概要

■温室効果ガス排出抑制への着実な取組み

【供給面での取組み】

①原子力発電所の再稼働と継続した安全・安定運転

- 玄海原子力発電所3、4号機の再稼働に向け、国の審査・検査に適切に対応します。
- 川内原子力発電所の安全・安定運転をはじめ、更なる安全性・信頼性の向上に向けて継続的に取り組みます。

②再生可能エネルギーの積極的な開発と最大限の受入れ

- 再生可能エネルギー電源の新規開発候補地点の調査をグループ会社と連携して行うとともに、開発地点の環境アセスメントや建設工事を進めます。
- 地熱や水力、風力、バイオマス、太陽光発電所の安定運転の継続に努めます。
- 再生可能エネルギーの最大限の受入れに向け、連系線や大容量蓄電システム等の活用検討を進めます。

③火力発電設備の高効率化に向けた取組み

- 最新鋭の技術(超々臨界圧微粉炭火力)を採用した松浦発電所2号機増設工事の着実な実施など、火力発電所の新設時等においては、経済的に利用可能な最良の技術を活用します。

【使用面での取組み】

①お客さまの省エネ・低炭素化に貢献する取組み

- 会員サイト「キレイライフプラス」などを通じた省エネ情報の発信や、高効率給湯機エコキュートの普及に向けたPRなど、上手に電気をお使いいただくための取組みを推進します。
- ご家庭での省エネ・低炭素化の取組みの支援に向け、「環境家計簿」の利便性向上(機能改善)や普及方策の検討を進めます。



玄海原子力発電所



八丁原発電所



みらいくんの環境家計簿

■廃棄物ゼロエミッション活動の展開とグリーン調達への推進

①廃棄物ゼロエミッション活動の効率的な展開

○各事業所における廃棄物の適切な管理・処理や3R*を継続します。

※：リデュース、リユース、リサイクル

②汎用品や電力用資機材のグリーン調達推進に向けた取組み

○会議や文書等を通じて、社内でのグリーン調達推進に関する周知を行うとともに、当社ホームページ等を通じて、お取引先からのグリーン製品の提案を促進します。

■設備形成における環境への配慮や発電所・変電所等の環境保全

①電源の開発地点における着実かつ効率的な環境アセスメントの実施

○内燃力発電所の増設・更新に係る自主アセスメントの着実な実施や九州域外の自社電源の開発に係る環境アセスメントの支援を実施します。

○宮崎県の耳川水系における河川本来の土砂の流れの再生（ダム通砂運用）に向けたダム改造工事や環境モニタリング調査を継続するとともに、一ツ瀬川濁水対策を着実に実施します。

■地域における環境活動の展開と環境コミュニケーションや次世代へのエネルギー・環境活動の推進

①くじゅう坊ガツル湿原一帯の環境保全活動や九州各地での環境月間行事など、地域と連携した活動の実施

○くじゅう坊ガツル湿原（大分県竹田市）一帯において、野焼きや外来種駆除、ミヤマキリシマ（大分県準絶滅危惧種）植生保護などの環境保全活動の充実を図るとともに、外来種植物の持込み防止に向けた除去マットの設置など、活動の充実策を検討・実施します（九電みらい財団が実施）。

○環境月間（6月）において、地域のお客さまを対象とした環境講演会の開催や、次世代を対象とする地域と連携した活動（稚魚放流・芋の苗付け等）を実施します。

②積極的な情報発信を通じた環境コミュニケーションの推進

○環境アクションレポート・ダイジェスト版などの発行やフェイスブック等を通じた積極的な情報発信により、九州電力グループの環境活動をわかりやすくご理解いただけるよう努めます。

③教育機関等との連携による次世代へのエネルギー・環境教育の実施

○山下池（大分県由布市）周辺の社有林「くじゅう九電の森」における次世代を中心に行う環境教育（九電みらい財団が実施）について、実施回数及び参加者の拡大に取り組めます。

○環境保全活動と環境教育を組み合わせた次世代向け環境イベント「Play Forest」の九州各地における開催拡大に取り組めます。

○「エコ・マザー活動（環境紙芝居の読み聞かせ等）」を通じて、園児への環境教育支援及び保護者の皆さまへの環境情報の提供を実施します。

○小・中学生を対象に、当社社員によるエネルギー・環境教育「出前授業」を積極的に実施します。

■環境管理の着実な実施とグループ一体となった環境経営の推進

①環境に関する社員教育と環境情報提供の着実な実施

○環境業務担当者の実務力や環境関連法令、コンプライアンスの認知・理解度の向上に向けた研修を継続して実施します。

②グループ会社と一体となった活動の展開・推進

○グループ環境経営推進部会やグループ環境担当者連絡会議の開催を通じたグループ各社との連携強化や、法規制遵守に重点を置いた支援等を行います。



古紙で作ったトイレペーパー



新知名発電所7号機の増設計画に係る動物調査の様子



野焼き



外来種駆除活動



芋の苗付けの様子



稚魚放流の様子



くじゅう九電の森における環境教育



Play Forest



エコ・マザー活動



出前授業



社外講師による環境講演会